

全国のウォーカー 大中遺跡へ



▲ボランティアによる湯茶の接待が好評でした

全国のウォーカーが2日間にわたって播磨路を歩く「第14回加古川ツリーデーマーチ」が行われ、1日目の11月8日(土)、今年もウォーカーたちが大中遺跡に姿を見せました。播磨町はツリーデーマーチに支援町として参画しており、大中遺跡は、30キロ、40キロコースのチェックポイントの一つとなっています。この日は参加者に、播磨町の特産品である『のり』が配布され、「お昼ご飯に食べますね」という参加者も。また、ボランティアによるせんざいと商工会青年部による黒豆うどんも大変好評でした。

学童まつり 親子270人が楽しむ



▲障害物リレーでの1コマ

町内の全小学校内にある学童保育所が一堂に集い、交流を深める「第11回学童まつり」が10月26日(日)、播磨小学校運動場で行われました。この日は親子約270人が参加。目標の輪を狙って靴を飛ばす「くつロケット」や、各学童保育所対抗の二人三脚や障害物リレーなどがあり、親子たちが楽しいひとときを過ごしていました。

ひょうたん作りの名人

レポーター 西村 英和さん



▲納屋につり下げられたすばらしい作品の数々

◀この方がひょうたん作りの名人

10月3日(金)、近くを散策していたとき、ふと目に入ったのが納屋にひょうたんが数本ぶら下がっているお宅でした。お声をかけますと、「まあ中に入って見ていただきたい」と言われ早速見せていただき、ひょうたん作りのお話を伺いました。20年前に喫茶店でコーヒーを飲んでいたら、隣のお客さんのひょうたん作りの話が耳に入り、自分も作ってみたいと思ったのがきっかけだそうです。苗を植え、つるがだんだん伸び、実もできて日に日に大きくなり、底から網をかぶせて上に持ち上げるのに一苦労。収穫したひょうたんは、2週間ほど酒に漬けると中身が腐り、奇麗に皮がむけるそうです。中身を取り出すのに、初めは失敗したそうですが、だんだんと上達し、今までに数え切れないほどの作品を作っています。近所や知り合いの方、通りすがりの方に誉めていただいた記念に渡しておられるのだと、とても楽しく話していただきました。

加古ちゃんのフリーマーケット大盛況



▲フリーマーケットでリサイクル

10月25日(土)、新島の加古郡リサイクルプラザで、「第11回加古ちゃんのフリーマーケット」が行われました。この「加古ちゃんのフリーマーケット」は年に2回、4月と10月に行われており、フリーマーケットの出店数は年々増え、またイベントも盛りだくさんで、大変にぎわっていました。一方、紙すき体験や粉せつけんづくり、リサイクルびんで作るペーパーウエイトづくりもでき、参加者たちは慣れない手つきながら熱心に取り組んでいました。

県「くすのき」のとり賞 町内6人へ ぐすのき賞は1団体へ贈られる

このほど、大岡雅恵さん(古宮)、河南博さん(二子)、黒石和義さん(宮北)、澤田宗保さん(三ツ)、古河よし子さん(宮西)、平郡英徳さん(本庄)が兵庫県「くすのき」のとり賞を、ボランティア団体「ハンドベルの会」(南 登喜子代表、会員15人)が兵庫県くすのき賞を受賞されました。河南さん、黒石さん、澤田さん、平郡さんは、長年にわたり自治会長として地域コミュニティづくりに尽

力され、地域活動に積極的に取り組まれています。大岡さん、古河さんは長年にわたり主婦のグループでお弁当を調理し、町内の高齢者に配食する活動に取り組まれています。ボランティア団体「ハンドベルの会」は、平成11年から高齢者施設などでハンドベルの演奏を披露し、対象者にも参加してもらおう参加型の訪問を実施されています。

“ふれあい”

レポーター 茶本 恵子さん



今年も大勢の人々にぎわった“ふれあい”行事の各会場



毎年、野添の住吉神社秋祭りの宵宮に合わせ、地域の自治会ではいろいろなふれあいの行事が行われています。10月18日(土)の夕刻、宮の裏自治会では、子ども会や老人会などと協力し、いろいろな食べ物やくし引き、ダーツなどの店を公園に出しておられました。毎年恒例になっているので、会場には多くの方々が集まり、カラオケ大会やバザーも行われていました。JR土山駅近くのであいの道では、駅西、土山駅前、新池、オリブハイツ、サニーハウス土山、野添県住の6自治会合同でいろいろな夜店を出しておられました。太鼓や風船細工などのイベントもあり、近隣の方々が多数参加しておられました。また、鹿の川自治会でも夜店を出し、公民館の中では地区の方々がカラオケや草笛演奏を楽しんでおられました。今年は天候にも恵まれ、とてもさわやかな住民ふれあいの一日でした。

花のこころ



▲P.N. 美咲凜華 (野添)

心の花
心の中にも
一輪もっている
だれでもない
見えない
花だけども
一輪もっている
色や形は
ちがうけど
だれも
一輪もっている
見てみたい
あなた
の花

▲松田 祥代さん (北本荘)



▲P.N. PINK♡ (北本荘)

あなたに はつたつち

リレーエッセー⑥4

ホストファミリー体験



たかみ 孝美さん
(本 庄)

趣味
3Dデコパージュ

今年七月に、娘の大学の留学
生受け入れプログラムとして、
二週間ホストファミリーを引き
受ける機会がありました。留学
生はアメリカ人で十九歳の、と
てもおしゃやかなかわいい女の
子でした。彼女は一月月の留学で、
前半二週間は別の家庭で、後半
二週間をわが家で過ごし、日本
の日常生活を体験しながら平日
は大学へ通つていきました。

などへの日帰り旅行も組み込ま
れていました。彼女の話の中
から、普段忘れかけていた日本
のよさを気付かされたような気
がしました。

わが家での生活では、私自身、
英語や食事面においてあまり自
信がありませんでしたが、単語
をつなげただけの会話でも一緒
に生活してみても、話し合うと分
かり合えることを実感しました。
それぞれの生活習慣の違いを認
め合いながら生活していくうち
に、少しずつ心が通じ合えるよ
うになり、しだいに彼女の方か
ら「ありがとう、行ってきます、
ただいま、いただきます、ごち
そうさま」と笑顔で言ってくれ
るようになり、とてもうれしく

この体験を通して、心のふれ
あいの大切さ、コミュニケーション
の大切さを学んだような気
がします。これからも人との出
会いを大切にしながら、少しづ
つ、心の交流の輪を広げていき
たいと思います。

感じました。お互いを思いやり
ながら生活するって大切なこと
だなあと感じました。

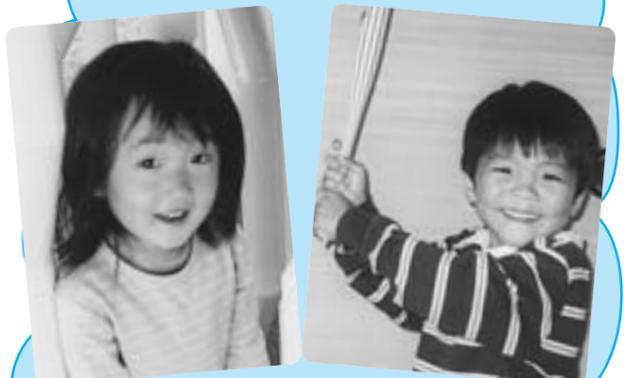
また、私たち家族は彼女から
たくさん事を学ばせてもらい
ました。英語を教えてもらっ
たり、子どもに宿題を教えてもら
ったり、一緒にテレビを見て大
笑いをしたり、七夕飾りに英語
や日本語で願い事を書いたり、
花火をしたり、また、播磨町見
学（大中遺跡、人工島、阿門神
社）に行ったりと、とても心に
残る二週間となりました。

播磨町で、子どもをねらった
悪質な事件が今年の4月から10
月末までに40件を数えました。
ご存じのことと思いますが、教
育委員会でも6月から広報車で
注意を呼び掛けています。

また、播磨町内の各種団体も
地域ぐるみで子どもを守ったり、
青少年のための地域環境浄化活
動を行っています。例えば各自
治会から選出された少年補導委
員は、委員が小学校区ごとにチ
ームをつくり、地域のパトロー
ルや青少年健全育成に励んでい
ます。この度、大中遺跡まつり
や播磨町夏まつりにも補導活動
を実施しました。

また、広報はりま9月号でも
お知らせしましたように、「子
どもを守る110番の家」を見
直し、今まで以上に効果的に機
能するよう子どもの通学路に面
した家や公園の近くの家に、協
力を得ることになりました。学
校でも子どもたちの一斉下校で
子どもを守る110番の家を確
認したり、プリントを配布して
注意を呼び掛けたり、学校の行
き帰りは「友達と一緒に帰る」な
ど安全教育に力を入れています。
これからは、大人が地域とか
かわりを持ち、子どもをサポート
していかねければなりません。
家庭と地域と学校がスクラムを
組み、子どもとあいさつをかわ
したり、多くの温かいまなざし
で、「地域の子どもは地域で守
り育てる」という意識を社会全
体で高めていくことが大切では
ないでしょうか。

わんぱくはりまっ子



あやめ 藤原 彩芽ちゃん (3さい) 野添
りくと 村津 陸斗くん (4さい) 北本庄
いつも明るく 笑顔の 元気いっぱい、強い子
にあう女の子でいてね になあれ!
(お父さん・お母さんより) (お父さん・お母さんより)



このコーナーに出てください「わんぱくはりまっ子」を
募集しています。(3歳~5歳対象) 広報担当まで電話を。
またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

おいしそうぶどうがなったよ

播磨中央保育園



おいしそうぶどうが
なつてみんなが
おいしくか

少し涼しくなってきたころ、
袋をはずしてみると大きくな
ったぶどうが顔を出し、「赤ち
やんの実がこんなに大きくな
ったね」「おいしそうだね」と
大喜び。大事そうに手のひら
に包み、嬉しそうに子どもた
ちの笑顔が見られました。

保育園の裏庭に、みかんやりんご、
ぶどうの木があり、夏にはひょうたん
がなります。
ある日、裏庭から「これ何の実か
なの?」「小さいぶどうぶどうついで
」「ぶどうの赤ちゃんがなつてらんや」と
うな声が聞こえてきました。ところが
「葉っぱが食べられてる」「カナブンが
いつばいる」と大騒ぎになり、害虫
からぶどうを守るために新聞紙で作っ
た袋を一つ一つ丁寧につけました。こ
うして大切に育て、大きくなっていく
ぶどうの実を見て「だいぶん大きくな
ってきたね」と楽しみにしていました。

仲よし家族で遊んだよ!

播磨西幼稚園



▼家族で遊ぶともっと
楽しいね

年長、年中、年少の3学年
が集まって家族を作っていま
す。仲よし家族は、一緒に絵
本を借りたり、体重測定をし
たり、幼稚園のことで困ったことがあ
ったら「こうするんだよ」とやさしく
言葉をかけ合ったりしています。そん
な仲間がいるから、子どもたちは幼稚
園で安心して生活しています。

今日は、3学年の仲よし家族が集ま
り、石ヶ池公園の芝生の上でお弁当を
食べました。「シートを一緒に並べよう」と
家族の顔が見えるように並べたり、
食べ終わったあとと寝ころんで空を一緒
に見上げたり、「鬼ごっこしよう」「か
ごめかごめしよう」と家族で一緒に遊
べるものを考えたりしていました。遊
んでいるみんなの顔は、とっても楽し
そうでした。
このように、異年齢との子どもたち
のつながりも、毎日の生活を通して深
まっています。

あえの里を訪れて

播磨小学校



▲お年寄り子どもたちの昔遊びの輪

10月9日(木)、4年生87名は「あえの
里」を訪れ、高齢者とのふれあいの場
をもちました。
リコーダー奏のあと、「よきこいソニー
ラン」のダンスを披露しました。子ど
もたちの力強い動きとリズムカルな鳴
子の音がロビーいっぱい響き、大き
な拍手に包まれました。
子どもたちの緊張もすっかりほぐれ、
昔遊びが始まると、折り紙・あやこ
り・お手玉...とくくつもの輪ができ、
楽しいひとときを過ごしました。
「ありがとう」の言葉と名残り惜し
気なまなざしに送られて、「あえの里」
をあとにしました。

20年目の節目 ジャンプアップを誓い

播磨南高等学校



▲多くの来賓に見守られながら式典は挙

播磨町からはご来賓として町長様、
町議会長様、連合自治会長様をはじめ、
多くの皆様にご出席いただきました。
式典では、学校長から設立以来の地
域をあげてのご支援への感謝、大中遺
跡やジョセフ・ヒコと本校の縁などに
ついて式辞が述べられました。
続いて佐伯町長様から、創立以来の
新島クリーン作戦や恒例となった町事
業などでの本校生のボランティア活動
に対するお礼などを交えて励ましの祝
辞をいただきました。
また、式典の舞台と会場入り口には、
播磨町菊花会のご好意で見事な菊を飾
ることができました。
播磨町をはじめ地域の皆様には、こ
の20年に引き続き、これからも変わら
ぬご支援、ご協力をいただきますよう
お願いいたします。